

一枚の板が、いのちを与えられるように、繊細な形へと仕上げられていく。



火の国阿蘇の  
恵みのブランド

灸  
zen  
A s o C i t y

柔道二段の笹原聡さんは、岩のような体格だ。

しかし、しみじみ人は見かけによらぬもの。

「思わずうなるほど、きめ細やかな仕事をする人です」

という町の評判がしきりです。

大きな手のひらは、とびきり器用。

先々代（祖父）、先代（父）の仕事ぶりを見て育った。

「きれいだなあ」と、子どものころいつも感心していた。

一枚の板が、まるでいのちを与えられるように

さまざまな繊細な形へと仕上げられていく。

この「きれいな」仕事を継ぐことになんの抵抗もなかった。

木造住宅が減ってきている時代です。

しかし、木という呼吸する素材で造った家は

季節になじみ家族とともに成長していく。

そう確信しています。

笹原木工所 笹原聡

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。